

環境と福祉に貢献

しまむら長持店で植樹

地球環境と地域の障害者福祉に貢献しようと、平塚市内外で11店舗を展開するスーパー「しまむら」(長持、島村孝征社長)の長持



店で25日、植樹が行われた。写真。社会福祉法人「進和学園」(万田)を利用する知的障害者でつくる「どんぐりグループ」が育てた苗木112本を購入、敷地の一角に植えた。今後もグループの苗木を購入し、各

店舗で植樹を行う計画だ。

植樹したのは、クチナシやナンテン、チャノキなど25種類。宮脇昭横浜国大名誉教授の植林方式に基づき混ぜて植えた。大友康弘店長の筆による「感謝」の字の陶板に、学園利用者の陶板作品を組み合わせた記念板も設置した。今後、他店舗でも、敷地の状況に応じ植樹を行っていく。

島村社長は「二酸化炭素(CO₂)削減、環境づくりに貢献したい。また、違う木を混ぜて植え個性を生かすというのは素晴らしい。憩いの場としてお客さまに喜んでいただければ」と話した。

(熊谷 和夫)